

柱 2-1-(2)-ア PPP/PFI の活用促進

元年度目標の達成状況

目標	元年度実績	元年度目標の評価
事業の企画を担当している職員のうち、事業手法として PPP/PFI 手法を理解し積極的に検討しようとする職員の割合 28 年度 30% 29 年度 45% 30 年度 60% 元年度 80%	56.9%	未達成

元年度取組の実施状況

元年度の取組内容	元年度の主な取組実績
①各所属における PFI の検討導入の促進及びガイドライン等に基づく円滑な導入実施の支援 ・「基礎研修（6月）」、「PPP/PFI 普及啓発研修（8月頃）」、「実践研修（9月頃）」、「eラーニング研修（12月）」において、これまでの企画担当者向け職員アンケート結果の分析を踏まえ、職員の理解度等に応じて手法や内容を変えてアプローチするなど工夫した取組を実施する。 ・PPP/PFI 手法導入優先的検討規程、ガイドライン等に基づく検討支援を実施する。	・「基礎研修（6月）」、「PPP/PFI 普及啓発研修（8月）」、「実践研修（9月）」、「eラーニング研修（12月）」を実施した。 ・研修内容のポイントをとりまとめ、庁内ポータルで発信することにより、研修未受講者への理解促進を図った。 ・職員の理解度等（経験やレベル）に応じた、eラーニング研修資料（初級編及び中級編）を用意し、幅広い層への理解促進を図った。 ・PPP/PFI 手法導入優先的検討規程に関する協議、各種相談など活用促進に向けて各所属における検討を支援した。 ・各所属での検討支援の一環として、「マーケットサウンディング「官民対話」のポイント」を作成し、庁内ポータルで発信した。 ・PPP/PFI 手法導入優先的検討規程、ガイドライン等に基づく検討支援を実施した。 主な支援対象事業：天保山客船ターミナル整備等事業、水道 PFI 管路更新事業、工業用水道特定運営事業

取組期間の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市 PPP/PFI 手法導入優先的検討規程を策定（28 年度）し、検討にあたっての必要なプロセスを確立した。また、各種研修の実施等の普及啓発の取組により PPP/PFI 手法に対する職員の意識向上や組織全体の検討意識の醸成を図ることで、職員の理解度や検討意識が一定向上した。 ・また、PPP/PFI の活用事例としては、海老江下水処理場改築更新事業及び天保山客船ターミナル整備等事業の 2 件について、PFI 事業契約の締結に至った。

今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・元年度目標は未達成であったが、取組期間において民間活力の活用を積極的に検討する職員は増えつつあり、活用事例も生じている。今後は、より積極的に検討・導入に取り組む職員を増やすことで事業分野も広げていく必要がある。 ・引き続き「市政改革プラン 3.0」において、PPP/PFI などの民間活力の活用手法について、職員に行動を促すことで、全庁的に積極的な検討・導入の機運を高め、官民対話も促進しながら、最適な民間活力の活用手法の導入につなげる。
